

政策シート 政策名 05 園・学校や教師の力の向上

予算費目名 01 教育センター費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 02 子育て・教育

理想の姿 (30年後)	◆地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。
政策の柱 (10年後)	◆子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。 ◆すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

基本政策 02 市民協働による未来創造へのひとづくり

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

「浜松市の目指す教育の姿」における「目指す子供の姿」実現のため、「目指す教職員の姿」である愛情と情熱を持ち続ける教職員、専門性と指導力を磨き続ける教職員の育成を図る。

(3) 関連するSDGsのゴール

④教育									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	37,481	24,412	31,785			
決算	30,389	21,260				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	107,200	107,200	107,800			
年間経費(予算又は決算+A+B)	137,589	128,460	139,585			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
研修参加者の満足度 (%)	%	目標	85	85	86	86	87	87
		実績	85	83				
		目標						
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

「浜松市の目指す教育の姿」における「目指す子供の姿」実現のため、「目指す教職員の姿」である愛情と情熱を持ち続ける教職員、専門性と指導力を磨き続ける教職員の育成を図る。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
------	------

教職員研修事業では、年間研修計画に基づいた分野別の研修等を実施し、述べ10,088人の研修参加者があり、資質の向上を図った。また、浜松市独自の教員免許状更新講習を実施し、305人が受講した。アンケートによる研修参加者の満足度を指標としており、研修分類によって満足度のばらつきが見られる。全体では、新型コロナウイルス感染症対策による研修開催体制を見直したことにより、政策の指標における満足度は昨年度85%に対して今年度は目標値を下回っているものがみられるため、分野別にみた場合に目標値を下回っている個々の研修に対する対応が今後の課題となる。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	教職員研修事業	○	○	○		104,837	21,637	8.8	6.0			
2	教育センターデジタル運営経費	—	—	—		5,940	4,540	0.2				
3	教育センター管理運営経費	—	—	—		28,808	5,608	2.0	1.0		2.0	
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						139,585	31,785	11.0	7.0		2.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	02	02	05	01	005115000	01	教育センター	佐藤 匡子	R3.7.1

事業シート (事業名) 01 教職員研修事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

効率的、かつ高度な研修をとおして、教職員の資質の向上を図り、教職に就く使命感を高め、指導力の向上を図ることを目的とする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S49	-	一般会計	自治事務(法令義務)	教育公務員特例法、 浜松市教育センター条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	II-2(2)ウ						
重点戦略	○	(戦略項目)	91						

(4) 関連するSDGsのゴール

④教育									
事業とゴールの 関連性	ターゲットでは、「4.1 すべての子どもが、男女の区別なく、適切かつ効率的な学習成果をもたらす、無償かつ公正で質の高い初等教育及び中等教育を修了できるようにする。」とされており、当該事業目的である、効率的かつ高度な研修をとおして、教職員の資質の向上と指導力の向上を図ることで、その効果が子供たちに反映され、ターゲットの達成につながる。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	31,874	18,240	21,637			
	決算	25,811	15,885				
	国・県支出		1,740				
	市債						
	その他	8,721	5,974	3,893			
	一般財源 一般会計繰入金	17,090	8,171	17,744			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		77,000	77,000	83,200			
人工	正規	9.0	9.0	8.8			
	再任用(h31)			6.0			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	5.0	5.0				
年間経費(予算又は決算+A+B)		102,811	92,885	104,837			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
研修参加者の満足度 (%)		91	目標	85	85	86	86	87	87
			実績	85	83				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
02 02 05 01 005115000 01 教育センター 佐藤 匡子 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

【R1-R4重点戦略項目No.91】

浜松市教員育成指標を踏まえて、全ての研修を体系的かつ効果的に実施するための研修計画を立てるとともに、社会環境の変化、学校現場のニーズに応じた研修を実施する。

研修の分類は、経験研修、推薦研修、園・学校経営のための研修、職能を高める研修、各自の力量を高める研修、土曜講座など。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

経験研修(初任者、2年目、5年目、中堅教諭)においては、教職経験年数に応じた研修内容となっているため、非常に満足度が高いものになっている。それに対し、教科・領域に関する研修(学校経営、職能、力量等)では、豊かな経験や高い専門性があることから、研修生の求めるものがより高度になるため、研修形態や講義内容が少しでも合致しない場合には満足度が非常に低くなる傾向がある。研修の分類構成において、教科・領域に関する研修が7割以上を占めることから、満足度が低く抑えられていると考えられる。

研修全体における満足度は、昨年度85%に対して今年度83%となった。コロナ感染症予防のため、中止等になった研修もあったためと考えるが、分野別にみた場合に目標値を下回っている個々の研修に対する対応が今後の課題となる。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

研修のアンケート結果を分析し、今後の研修形態や講師選定等について検討した。

希望研修の参加者を増やすため、研修ガイドブックにおいて希望研修内容がより伝わりやすくなるように工夫した。また、研修説明会等で希望研修の参加について周知徹底した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

教科・領域に関する研修について、目的に合致した研修内容となるように研修のアンケート結果を注視、分析し、今後の研修形態や講師選定等について検討することで、より満足度の高い研修に繋げていく。

新学習指導要領をうけ、教員には、新学習指導要領の正しい解釈と理解、充実した指導内容を学ぶことが重要かつ不可欠であることから、「各教科等授業改善研修」を令和元年度から実施しており、令和4年度で終了する予定である。また、教育の情報化推進リーダー養成研修を拡充し、校内における教育の情報化を推進する指導的な役割を行う。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

【R1-R4重点戦略項目No.91】

浜松市教員育成指標を踏まえて、全ての研修を体系的かつ効果的に実施するための研修計画を立てるとともに、社会環境の変化、学校現場のニーズに応じた研修を実施する。

研修の分類は、経験研修、推薦研修、園・学校経営のための研修、職能を高める研修、各自の力量を高める研修など。

事業シート (事業名) 02 教育センターデジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

教職員研修事業においてデジタル関連の運営することを目的とする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S49	-	一般会計	自治事務(法令義務)	教育公務員特例法、 近松市教育センター条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算			4,540			
	決算						
	国・県支出						
	市債						
	その他			4,222			
	一般財源			318			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				1,400			
人工	正規			0.2			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				5,940			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 02 基本政策 02 政策 05 予算費目 01 所属コード 005115000 事業 02 (担当課) 教育センター (責任者) 佐藤 匡子 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- 1 教員免許状講習システム運用代行サービスを利用する。
- 2 教員免許状講習における講義の撮影、編集を業務委託し、実施する。

事業シート (事業名) 03 教育センター管理運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

施設の適正かつ安心・安全な管理運営を行うことを目的とする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S49	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市教育センター条例、消防法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの関連性									
------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	5,607	6,172	5,608			
	決算	4,578	5,375				
	国・県支出						
	市債						
	その他	18	18	18			
	一般財源	4,560	5,357	5,590			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	30,200	30,200	23,200			
人工	正規	3.0	3.0	2.0			
	再任用(h31)	1.0	1.0	1.0			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.0	2.0	2.0			
年間経費(予算又は決算+A+B)		34,778	35,575	28,808			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
02 02 05 01 005115000 02 教育センター 佐藤 匡子 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- 1 教職員の研修の場として、充実した研修ができるように環境整備を行う。
- 2 教育センターの建物、設備、研修室等の適正な維持管理運営業務を行う。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

平成27年度に建てられた建物であり、建設から6年が経ち、施設面において経年劣化により今まで生じなかった修繕の必要な箇所がでてきている。

幼・小・中の全市域を対象とした大規模な研修会等では、隣接する教育会館等を借用することで対応している。また、教育センター単独の研修において、駐車場台数(枠内106台)が限られているため、教育会館駐車場を借用する場合がある。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後、引き続き教育センターの建物、設備、研修室等の適正な維持管理運営業務を行っていく。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

教育センターの建物、設備、研修室等の適正な維持管理運営業務を行う中で、更なる経費節減等に努めていく。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- 1 教職員の研修の場として、充実した研修ができるように環境整備を行う。
- 2 教育センターの建物、設備、研修室等の適正な維持管理運営業務を行う。